

No. 1029

都民の祭り

江戸の火消のまといが舞い、とびの木遣りが流れる大都市東京は江戸模様。10月1日、都民の日を記念して行なわれた「まといパレード」、しぶいのどに、いなせなハッピー姿、街ゆく人々は江戸時代の名残りをとどめる「パレード」におしめない拍手を送ります。浅草三社神社では江戸の里神楽が披露され、浅草寺を訪れた外人さんもその華麗さにうっとり。大東京祭に花そえるミス東京コンテストは都民の日の「前夜祭」として9月29日日比谷公会堂で開かれました。各地区から選ばれた40人の地区ミスはいづれ劣らぬ美人ぞろい、審査員は大弱りです。慎重な審査の結果、二位には伊坪洋子さん(21)と水井久美さん(21)、そして晴れの第17回ミス東京に若生教子さん(20)が選ばれました。ミス東京はこれから一年間、都のホステスとして立派に活躍することでしょう。

伊勢遷宮

10月2日、五十鈴川の清流のほとり、緑の森深い伊勢神宮で遷宮祭がとりおこなわれました。20年を単位とする式年遷宮はことし60回目、社殿から調度品にいたるまでそっくり新しく取り替えられます。建て替えられる社殿65棟、調度品850種類、その経費およそ51億円といわれ、これまで一切国の手でまかなわれてきましたが、今回は初めて民間の寄附でまかなわれたとか。それでも、社殿や調度品をつくる材料や技術が失われ、遷宮は困難をきわめたといわれます。遷宮の儀式を一目見ようとつめかけた参拝客でにぎわう地元伊勢市では、「親しまれるお伊勢さん」をめざしてPRに懸命です。年間参拝客一千万人を目標としているとか。時代は移りかわっても、「お伊勢さん」は日本人の心のふるさととして生き続けているようです。